

hap·py

→ go

→ luck·y

【ハッピー・ゴー・ラッキー】

形 〈人の行動が〉のんきな、気楽な。

名 10代におくるブックガイド。

はぴ 28 号

2015年4月発行

【編集】はぴ編集委員会

【発行】さいたま市立中央図書館

浦和区東高砂町 11-1

TEL 048-871-2100

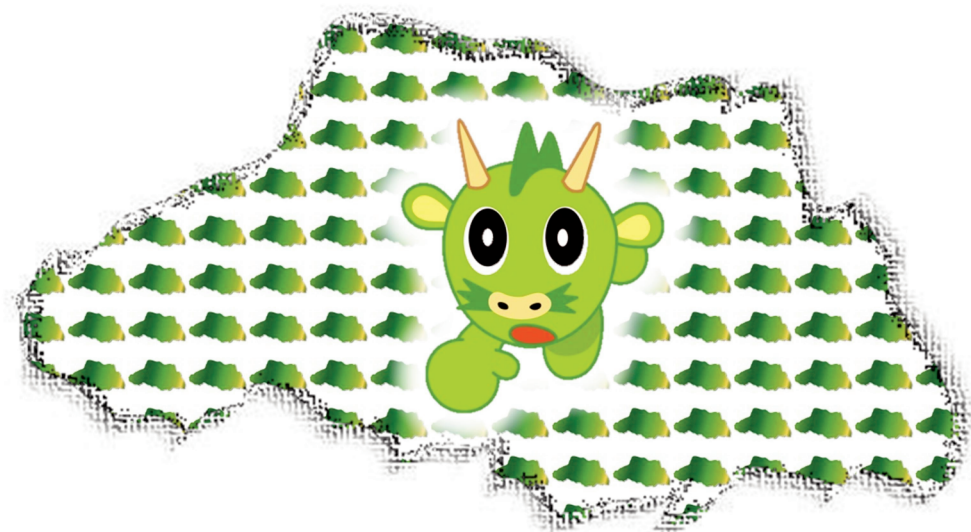
FAX 048-884-5500

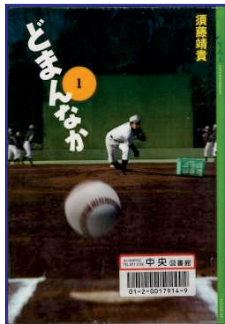
<http://www.lib.city.saitama.jp/>

携帯電話用



埼玉 ヲ読ム





☉ 空は晴れたり、県営大宮球場。

『どまんなか』 1～3

す どう やすたか
須藤 靖貴 作 講談社 2010年

埼玉県大会万年1回戦負けの弱小チームが変わる！
おおしろだい
大台台高校野球部に入部を決めた快速球投手レブン。待っていたのは
猛特訓より猛ミーティングを重視する、新任監督ゴキゲンのユニークな
指導だった。指先が割れるほどの乾燥肌とも戦いながら、レブンと仲間
たちは真っ向勝負で「夏」を目指す。

よく食べ、よく走る部員たちを応援せずにいられない物語。



浦和レッズのロゴも見てみて♪

『埼玉モダンたてものきまぐれ散歩』

株式会社コア 編 埼玉県県民生活部文化振興課 2013年

浦和レッズのエンブレムに描かれている建物は、緑区にある浦和博物館にそっくり。なぜ博物館がサッカーチームのシンボルに？

どこか懐かしい木造校舎から、神殿のような銀行まで。見慣れた街並みの中にたたずむ、実は歴史ある建物の数々には、人々の夢やこだわりが詰まっていた！

さあ、この本を片手に、街を歩いてみよう。



☉ 大宮駅の西口と東口をつなぐコンコース。その中央に立つ

モニュメントが接触場所の目印だった。

ゆうかい
『誘拐ラプソディー』 おぎわら ひろし
荻原 浩 作 双葉文庫 2004年

借金に追われ、死に場所を探して大宮へ流れ着いた秀吉にツキがまわって来た。偶然出会った6歳の家出少年・伝助が、金持ちの息子だとわかったのだ。自殺は中止し、誘拐を企てる秀吉だが…。

埼玉県警の刑事、埼玉県南を牛耳る暴力団、大宮周辺をしきる香港マフィアが、それぞれに秀吉を狙い動き出す。無邪気に自分を慕う伝助を連れ、必死で逃げる秀吉の運命は？

絶体絶命の逃亡劇ながら、秀吉と伝助のとぼけた会話が楽しい。



正解はコチラ

⇒ ⇒ ⇒ ⇒

埼玉を知るコーナーあり ☐ さいたま市図書館には地域に関連するテーマの本を集めたコーナーがイロイロあります。さて、次のコーナーはどこの図書館にあるでしょうか？

A:鉄道 B:盆栽 C:人形 D:サッカー E:バラのまち F:うなぎ G:川 H:見沼たんぼ



「バイトの時間まで、大宮で寄り道」ちらりとこちらを見て、彼女が言う。

『午前零時のサンドリヨン』

あいざわ さ こ
相沢 沙呼 作 東京創元社 2009年

僕が一目惚れした酉乃初は、クラスではほとんど笑わない、冷たい雰囲気
の女の子。でも夜は、大宮駅近くのバー「サンドリヨン」で華麗なマジック
と笑顔を披露している。

図書室で1冊だけ逆向きの本、机に刻まれたf f fの文字、未来を预言する女の子、自殺した女子生徒の霊。高校内で起こる「日常の謎」を、マジックのテクニクで解き明かしていく酉乃だけど、心はいつも閉ざしているよう…。



☉ 「うまい、うますぎる」といえば

『埼玉のおきて』 埼玉県地位向上委員会 編

アース・スターエンターテインメント 2014年

実は埼玉ローカルだった○○○…さて何でしょう？生活に欠かせないお店から学校での習慣まで、当てはまるものはたくさんあります。中学生にはおなじみの模擬試験「北辰テスト」や、個性的な味のラインナップで評判のアイス「ガリガリ君」も埼玉生まれ！この他にも思わずうなずいてしまう「あるあるネタ」をたくさん紹介しています。

まだまだ気づいていない埼玉の魅力、見つけてみませんか？



調神社にお参りに行った。願うことは、ボートがうまくなりますように、

強い選手になれますように。

『レガッタ！』 1～3 はまの きょうこ
濱野 京子 作 講談社 2012～2013年

「やるなら一番になりたい」。飯塚有里は、ほぼ全員が未経験者のボート部に入部を決めた。インターハイ優勝を目指して練習を重ねるうちに頭角を現していく有里。だが、ライバル視してくる美帆や他の部員などとの人間関係が有里を悩ませる。心が揺れる中、一致団結が求められるボートを乗りこなせるのか？

さいたま市女子高を舞台に、ボートへの情熱と成長の3年間を描いた



さいたま市図書館には地域に関連するテーマの本を集めたコーナーがイロイロあります。さて、次のコーナーはどこの図書館にあるでしょうか？
A:鉄道 B:盆栽 C:人形 D:サッカー E:バラのまち F:うなぎ G:川 H:見沼たんぼ

さいたま市ゆかいの スゴイ人たち！

いしい ももこ と 瀬田 貞二

(さいたま生まれ)

(さいたまに住んでいた)

図書館の検索機で、二人の名前を検索してみたら、きっとあなたは驚くでしょう。知っている本が、たくさん表示されるはずだから…。

石井桃子が^{ほんやく}翻訳した「ピーターラビット」、「クマのプーさん」、「うさこちゃん」が思い出の一冊だって人は、結構多いのでは？



『ちいさなうさこちゃん』

ディック・ブルーナ 作

いしい ももこ 訳

福音館書店



『ホビットの冒険』

J.R.R. トールキン 作

瀬田 貞二 訳

岩波書店

もし瀬田貞二が、異世界ファンタジーの定番「ナルニア」や「ホビット」を翻訳していなかったら、ファンタジーゲームが日本でこんなに発売されることは、無かったかもしれません。

二人は、翻訳者・編集者として世界の優れた作品を紹介し、私達に物語の世界に^{ぼつとう}没頭する楽しさを教えてくれました。先人の^{いぎよう}偉業に改めて感謝！

「埼玉」に関連する本を6冊、さいたま市にとっても縁の深い二人を取り上げた今回の「はぴ」いかがでしたか？

二人に興味を持った人は、近くの図書館で調べるか、中央図書館や北図書館の、さいたまゆかりコーナーに探検に行ってみよう！ 実は他にも有名な人は、いっぱいいるのです♪

次回
予告

はぴ29号（7月発行）のテーマは



このブックガイドは2,000部作成し、1部あたりの作成費用は3円（概算）です。